

道路37 国道195号の一次改築(高知県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
徳島214	徳島県、高知県編「四足峠トンネルⅡ級国道195号線四足峠トンネル工事概要」(徳島県、高知県、1964年)、まえがき	<p>国道195号四足峠トンネル(中略)2級国道195号線は、四国山脈の石立山(1,707m)と行者山(1,351m)にはばまれて車馬の通行はできない。この「四足峠トンネル」の開通することによって初めて路線の効果を生ずるものであり、これによって、物部川および那賀川流域の市町村は大きく発展が期待される。そして高知市と徳島市は193kmで結ばれることになる。</p> <p>また、この地域は天然の景観にすぐれており、昭和39年2月剣山国定公園が指定された。このトンネルはその地域にあって、剣山、石立山の登山者や別府峡、高瀬溪谷の探勝等、観光誘致上非常に便益が多くなるものである。</p>
高知14	高知県土木史編纂委員会編「高知縣土木史」(高知県建設業協会、1998年)、202頁	<p>国道195号大桁橋</p> <p>大桁橋は永瀬ダム工事による補償の付け替え道路の一部として1954年5月、総工費8500万円で着工、翌年5月完成した。橋長170m、幅員5.5mのボルチモアトラス橋で、この架橋は本県奥地の開発、物資、文化の交流に貢献し、観光面でも大きなプラスとなった。</p>